

あなたが思い描いた

未来の自分へ

未来の自分や周りの大切な人のために
今できることがあります



平成9年度～平成19年度
生まれの方には

令和7年3月末までHPVワクチンの
キャッチアップ接種を実施しています

子宮頸がんはワクチン接種と定期的な検診で予防することができます

鳥取市保健所

詳しくは裏面へ

HPVワクチンの接種を考えてみませんか？

HPV（ヒトパピローウイルス）とは？

主に性的接触により感染するウイルスで、**8割以上の男女が一生のうちに一度は感染**しています。ほとんどの場合は自然に消えますが、**一部残ったウイルスが原因でがんになってしまう**ことがあります。

子宮頸がんってどんな病気？

95%以上はHPV感染が原因で発症します。20～30代の若い女性に増加しており、**年間約11,000人が発症し、約2,900人が亡くな**っています。

初期の段階では自覚症状がないことが多く、手術などの治療が必要になることで、**妊娠や出産に影響を与えます**。

HPVワクチンとは？

接種することでHPVの感染を予防し、子宮頸がんの原因の6～9割を防ぐことができます。接種するワクチンや年齢によって、接種間隔や回数が異なりますが、**2～3回の接種を完了**するのに半年程度の期間が必要です。

副反応は大丈夫？

接種部位の痛み、腫れ、頭痛などの症状や、まれに重い症状（アナフィラキシーや神経系の症状など）が起こることがあります。問題となっていた接種後の「多様な症状」は、接種歴のない方にも一定数存在することが明らかになっています。

HPVワクチンの安全性は継続的に確認されており、鳥取市でも個別通知を再開したことで、接種される方も増えてきています。

男性も関係あるの？

男性に多い中咽頭がんの約半分はHPV感染が原因だと言われています。その他、肛門がんや尖圭コンジローマの原因にもなります。**接種することで、自身のがん予防の他にも、パートナーへの感染を予防することができます。**（男性は任意接種のため費用がかかります。）

ワクチンを接種したら検診は必要ない？

ワクチンで全てのHPV感染を予防できるわけではありません。**子宮頸がんの早期発見・早期治療のために、検診を受けることも必要です。**

★接種を希望する場合★

定期接種として無料で受けるには、鳥取市の発行する接種券が必要です。中学1年生以上の対象者には、住民票のある住所に接種券等を送っています。市公式ホームページから詳細を確認し、指定の医療機関に予約を取って接種してください。

※転入や紛失等でお手元にない場合は、下記担当までお問合せください。

※鳥取市に住民票のない方は、住民票のある自治体にご確認ください。

その他
詳しい情報は
こちら



厚生労働省HP

定期接種 (予防接種法に基づき国が積極的に勧奨する予防接種)		任意接種 (個人の希望で接種できる予防接種)
対象者	通常	小学6年生～高校1年生相当の女性 ※接種券の発送は中学1年生
	キャッチアップ	平成9年4月2日～平成20年4月1日の女性 ※令和7年3月31日までの特例
費用	無料 (対象期間を過ぎた場合は全額自費)	3回接種分でおおよそ5～10万円 ※医療機関により異なります。

お問い合わせ

鳥取市保健所保健医療課 予防接種推進係

〒680-0845

鳥取市富安2丁目138-4

駅南庁舎1階⑫窓口

電話 0857-30-8640



鳥取市公式HP